

2017 連合大阪春季生活闘争総決起集会宣言

2017 春季生活闘争は、いよいよ最大の交渉局面を迎えようとしている。

日本経済は、直近のGDP速報値によると4四半期連続してプラス成長になるなど、景気は緩やかながら回復基調にあるとされている。しかし、私たちの生活にその実感はなく個人消費は依然として伸び悩んでいる。

このような中、2017 春季生活闘争で私たち連合・連合大阪が果たすべき役割は、月例賃金の引き上げに徹底的にこだわりつつ、すべての働く者の「底上げ・底支え」、「格差是正」に向けた歩みを強め、そのうねりを社会全体に拡げていくことである。そのことがデフレ脱却の道を踏み固めることにもつながる。

わが国は、超少子高齢化・人口減少社会に突入し、多くの産業・企業が労働力人口の減少による人手不足に直面している。また、AIやIoTの飛躍的な進歩による「イノベーション」が労働者に「働き方」の変革を迫っている。こうした状況下で必要なことは、中長期的な社会・経済構造の変化を見据えた上で、労働者をとりまく環境の改善に果敢に立ち向かっていくことである。

一方、現下の大阪では、非正規労働者比率が全国よりも高く、雇用形態の二極化が進んでいる。非正規労働者の処遇改善に向けては「均等待遇」原則の法制化が不可欠である。同時に、長時間労働がひき起こす悲痛な出来事が二度とくり返されることのないよう、過重労働を防止し総実労働時間の短縮に向けた取り組みを全組織が一丸となり強化していく。

また、政府は、長時間労働の是正や同一労働・同一賃金などの「働き方改革」を、いわゆる“一億総活躍社会”の実現に向けた最大のチャレンジと位置づけている。しかし、真の働き方の改革は、懸命に働く私たちの現場実態の中から生まれてくるものでなくてはならない。加えて、政府は「働き方改革」を提唱する一方で、残業代を支払わない労働者を生む“高度プロフェッショナル制度”や“解雇の金銭解決制度”など労働法制の改悪を目論んでおり、決して容認することはできない。

私たち連合大阪は、全国の仲間とともに「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」を積極的に展開していく。そして、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、本集会の名において、一人ひとりの力を大きくひとつに結集し、社会的意義の極めて高い2017 春季生活闘争を闘い抜くことを宣言する。

2017年3月3日

2017 連合大阪春季生活闘争総決起集会